

令和8年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

横路中学校区 校番 7 学校名 呉市立横路小学校

a 学校教育目標	自分を育て 道を拓く ～主体的に行動し、ともに高まり力を 尽くす児童の育成～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	《ビジョン》 希望を与える学校の創造 ・勉強がわかる、学校が楽しい(児童) ・確かに子供が成長している(保護者) ・自慢の子供が育っている(地域)
----------	--	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	中期経営目標3年目となる本年度は、これまでの成果と課題をもとに取組内容を精査し、目標達成に向けて校内及び小中で連携を深めていく。具体的には、引き続き「知」「徳」「体」それぞれの方策を修正又は焦点化することにより、現状に則した取組の深化が可能となるようにする。また、9年間の連続した指導を意識した取組を進め、小中一貫教育の充実を図る。
------------------------------	--

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・③ 年目)					自己評価							
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	10月			2月			
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価	
★ ★ ★ 確かな学力	① 主体的な学びを通して児童の学習意欲を高めることで、児童の基礎学力の定着を図る。	① 論理的思考力・表現力の育成	○基礎学力の定着と表現力を高める取組 ・タブレットドリル「Qubena」等を個に応じた学びのツールとしてICTを有効に活用する。 ○ICTを効果的に活用した授業改善 ・「ロイロノート」等の思考ツール、共有ノートを活用して、自ら考えを表現したり、考えたことを共有したりする単元づくりを行う。	・単元末テスト(知識・技能、思考・表現)における通過率80%以上の児童の割合	国語 80%							
						算数 75%						
★ 豊かな心	② 積極的な生徒指導を通して、自らを律しつつ他人と協調できる豊かな人間性を育てる。	② 社会性の育成 共感的人間関係を基盤とした「学級づくり」と積極的な生徒指導の推進を図る。	○積極的な生徒指導に関する取組 ・「あいさつレベル5」を各教室に掲示したり、挨拶運動を実施したりして、挨拶への意識を高めていく。 ・生活目標に「挨拶・返事ができる」「名札を付ける」「時間を守る」「黙って掃除ができる」「相手を見て聞く」に関わる目標を入れて、意識付けを行う。 ・生活目標の振り返りを行い、放送等で紹介し、評価する。 ○「いじめや暴力撲滅」に関する取組 ・いじめ撲滅キャンペーン中に児童会活動によるキャンペーンを実施したり、道徳科の授業を通して心の耕しを行う。 ・共感的人間関係を育むために、学級活動の内容を充実させる。	・気持ちのよい挨拶をする児童の割合	90%							
						・もくもく掃除ができる児童の割合	90%					
						・いじめを許さないと答えた児童の割合		95%				
★ ★ 健康やかな体	③ 健康教育・健康教育を推進し、自ら命を守り、たくましく生きるための健康と体力を育てる。	③ 健康・体力の向上	○運動能力を上げる取組 ・外遊びを奨励し、よころっ子サーキットなどの遊具遊びを推進して、握力の向上を図る。 ・委員会活動を活用し、柔軟性を高める運動に継続的に取り組む。 ○基本的な生活習慣を確立する取組 ・早寝・早起き朝ご飯キャンペーンなどを通して、生活リズムを整えるよう指導する。	・新体力テスト(握力、長座体前屈)の記録が県平均の記録以上の児童の割合	50%							
						・決めた時刻に起きた児童の割合	85%					
★ 働き方	④ 教職員一人一人の働き方に対する意識を醸成して、働き方改革を推進する。	④ 児童と向き合う時間の確保	○行事・日課表の見直し	・子供と向き合う時間が確保されていると感じる教職員の割合	80%							
						⑤ 長時間勤務の縮減	○学校全体の長時間勤務の縮減 ○健康で生き生きとやりがいをもって勤務できる環境づくりの推進	・時間外勤務が月45時間以内の教職員の割合	80%			